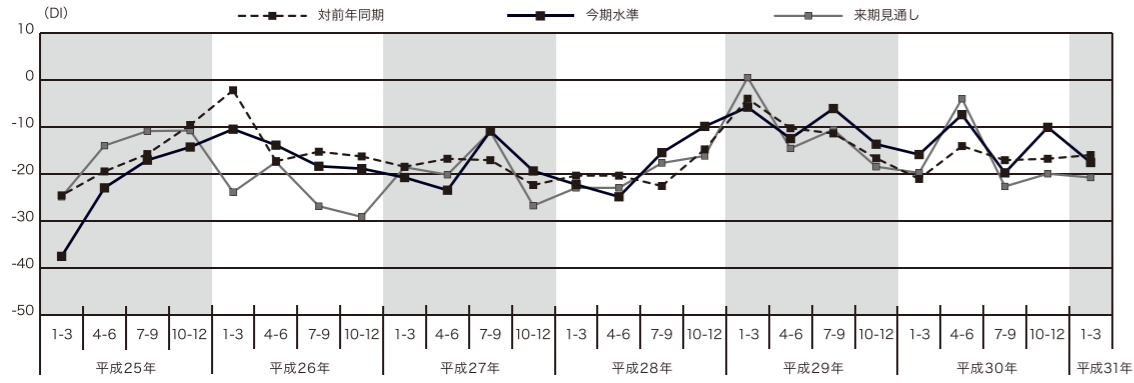


鶴岡商工会議所 景況調査

平成31年1～3月期

*調査対象: 会員事業所264社 *回答数: 147社(回答率55.7%)

●業況DI(全業種)



●経営上の問題点

🏠 建設業

「従業員の確保難」が最も多く、「官公需要の停滞」、「材料価格の上昇」が挙げられた。依然として「熟練技術者の確保難」も多くなっている。消費税改正後のマイナス影響が心配。働き方を見直し、若い人材を加えたいとの声あり。

🔨 製造業

「需要の停滞」、次いで「原材料価格の上昇」が挙げられ、「従業員の確保難」、「人件費の増加」が続いている。また、原材料費、電力・燃料費、輸送費等の値上げが相次いだり、価格転嫁出来ないとの声あり。

📦 卸売業

「仕入単価の上昇」、「販売価格の低下・上昇難」が挙げられ、「メーカーの進出による競争の激化」、「人件費の増加」が同位となっている。更に「従業員の確保難」「需要の停滞」が続いている。また、先行きの状況が不透明で常に危機感があるとの声あり。

👉 小売業

「需要の停滞」に続いて、「仕入価格の上昇」、「消費者ニーズの変化への対応」、「従業員の確保難」が多く挙げられている。また、10月からの消費税増税、キャッシュレス化への対応、働き方改革による人員増等を不安視する声あり。

★ サービス業

「従業員の確保難」が大きな課題となっており、「需要の停滞」が続く。「人件費の増加」、「店舗施設の狭隘・老朽化」が同数で、更に「利用者ニーズの変化への対応」となっている。依然サービス業界においての人手不足は深刻であり、先行きを不安視する企業が増えている。

鶴岡商工会議所では、平成22年度より、管内の景気動向を把握するため、会員事業所を通して四半期ごとの景況(業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り)をアンケートによって調査しています。

※DI値とは、「好転」「良い」「増加」「黒字」とする事業所の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「赤字」とする事業所の割合を差し引いた値を表しております。

・今期(平成31年1-3月)水準では、前回調査(平成30年10-12月)に比べ、7.5ポイント悪化し、▲17.5となった。
 ・対前年同期(平成30年10-12月)は0.8ポイント改善し▲15.9となった。
 来期(平成31年4-令和元年6月)見通しは、0.8ポイント悪化し▲20.7となった。

鶴岡市経済動向資料について

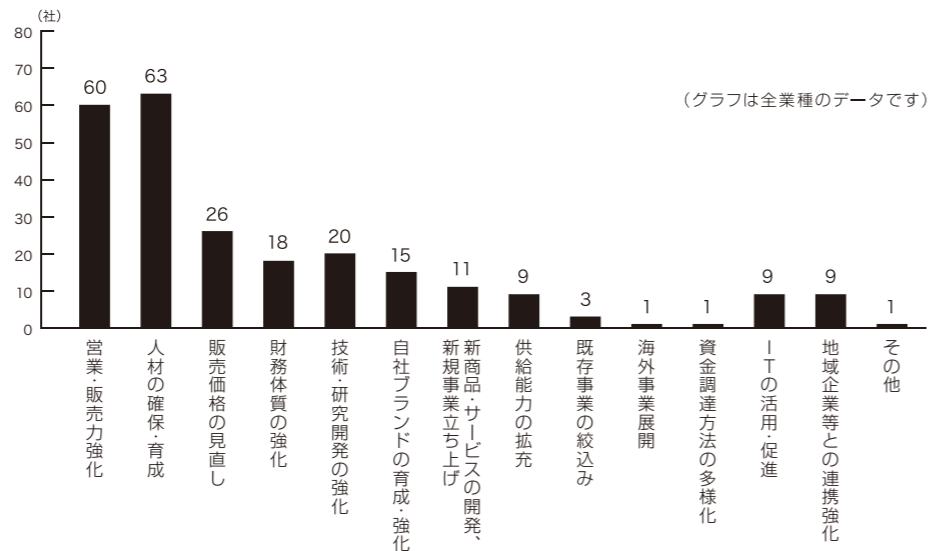
鶴岡市の経済に関係する資料をまとめ「鶴岡市経済動向」として公開しています。地域経済の動きを知るための一資料としてご利用ください。

QRコードからダウンロードしてください。

付帯調査

経営基盤の強化に向けて2019年度注力する分野

【全業種】で見ると、「人材の確保・育成」が最も多く63社、「営業・販売力強化」が60社で続き、この二つの分野が全体を大きく占めている。「販売価格の見直し」が26社、「技術・研究開発の強化」が20社と続き、「財政体質の強化」が18社となり、「自社ブランドの育成・強化」が15社、「新商品サービスの開発・新規事業立ち上げ」が11社と続いている。



※詳細は、当所HP(<http://www.trcci.or.jp>)内「各種統計・データ」をご覧ください。

鶴岡地区雇用対策協議会からのお知らせ

「鶴岡・田川地区高校生就職祭り」開催

7月8日、東京第一ホテル鶴岡で「令和元年度鶴岡・田川地区高校生就職祭り」を開催しました。鶴岡・田川地区の就職希望の高校生を対象に毎年開催し、今年で8回目。今回は管内の7校から生徒173人が参加。企業側は31社から約60人が参加しました。

3部構成で行ない、第1部は「先輩からのメッセージ」として、(株)ひまわり、(株)高砂製作所、(株)長谷川電器商会の3社より、先輩社員が一日の仕事の流れや職業選択のきっかけ、就職に向けた高校生たちへの心構えを伝えました。

第2部では企業ブースを設け仕事説明交流会を行いました。参加した高校生は5〜7人の班に分かれ、1社あたり15分の説明・意見交換として、自らが話を聞きたいと希望した企業を含め4社の説明を聞きました。企業の経営理念や事業紹介など、参加した高校生は熱心にメモをとる姿が見られました。

第3部の軽食での交流会では、第2部で回ることができなかった企業担当者に積極的に質問をする高校生もおり、本格的な就職活動としての意識の高さを感じられました。



企業を支える人材確保のために

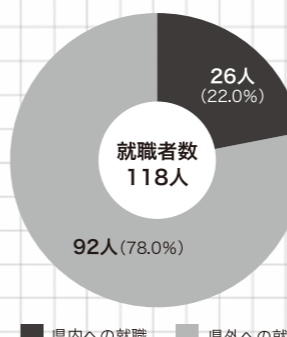
最近の高校新卒者の就職状況をみると、ハローワーク鶴岡管内の求人倍率は平成27年度が1.73倍、28年度が2.31倍、29年度が2.25倍、30年度は2.53倍と非常に高い水準を維持しております。また、鶴岡市の調査では30年度に高校を卒業し就職や進学等で庄内地域を離れた人の割合は、男子66.7%、女子76.5%にのぼり、職業観の多様化と相まって人材確保をめぐる環境は大きく変化してきました。また、鶴岡高専、山形大学農学部卒業生の就職状況においても、県内への就職割合が22.0%、12.1%と低い状況になっております。

鶴岡地区雇用対策協議会では、時代の流れに適切に対応して、事業所の優秀な人材確保と若者の地元定着の促進に向けて活動しております。高校3年生を対象とした企業との仕事説明交流会、高校と企業・企業担当者同士の情報交流会、U・I・Jターン希望者の地元就職支援など、会員事業所の採用活動に資する事業を実施しています。

未加入の事業所様におかれましては、協議会へのご入会・事業の活用をぜひご検討ください。

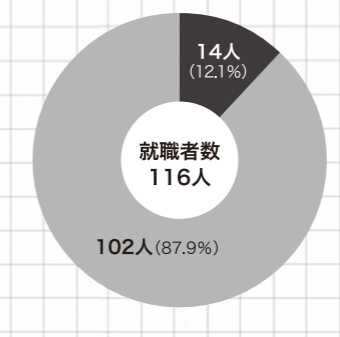
鶴岡高専卒業生の就職状況

(平成31年3月卒) 資料/ 荘内日報記事



山形大学農学部卒業生の就職状況

(平成31年3月卒) 資料/ HW鶴岡公表データ



高校新卒者の就職状況

卒業者数(人)	求職者数(人)	求人倍率(倍)	就職内定者数(人)		
			県内就職	県外就職	
28年3月卒	1,566	495	1.73	371	124
29年3月卒	1,514	472	2.31	319	153
30年3月卒	1,499	516	2.25	373	143
31年3月卒	1,454	480	2.53	356	122

資料/ハローワーク鶴岡

鶴岡商工会議所 職員紹介

課長	七森 玲子	企画係 係長	小杉 良輔
総務係 係長	三浦 千博	企画係 主任 補助員	森村 雄一郎
総務係 主任	中村 映子	企画係 主事	後藤 富実
総務係 主事	進藤 孝子	(公財)庄内地域産業振興センター 出向 主事	齋藤 智哉

事務理事 兼 事務局長	加藤 淳一	事務局長 次長	寒河江 澄
課長 経営指導員	寒河江 澄	経営支援係 主事 補助員	菅原 秋穂
課長 補佐 経営指導員	川村 広宣	事業係 係長 経営指導員	森村 とも子
経営支援係 係長 経営指導員	丸山 奈美	事業係 主事 経営指導員	相田 涼
経営支援係 主事 記帳専任職員	齋藤 豪介		

6月18日 山形県沖で発生した地震について

この度の地震により被害にあわれた会員事業所・市民の方々におかれまして、心からお見舞い申し上げます。お気付きの点、ご相談等ございましたら、鶴岡商工会議所までご連絡下さい。